

# ふるさと 通信員だより

vol.194

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



踊りやゲートボールなど多趣味だった恩田巳喜さん(100)は、はじめ8人の遺族や、会員52人が参列しました。安田会長は「会員が亡くなっていくことは寂しいです」と哀悼のあいさつ。物故者家族代表の河田稔さん(80)は「たくさんの皆さんで追悼していただき感謝申し上げます」とあいさつしました。物故会員(219人)に対する追悼法要は、昭和40年に第1回が実施されて今年で55年目になります。



たかだ てつこ  
高田徹子 通信員

## 厳粛に55回目の 追悼法要



放課後の時間、全児童を対象に登録制で、体育館で遊んだり、学習をすることを目的とした「放課後子ども教室」(町教育委員会主催)という居場所があります。現在17人の地域、保護者の人がボランティア登録をし、自身の都合に合わせて活動に参加しています。その中の1人、木野西通の三間富子さん(76)は、この活動に参加して2年目になります。今年、今年度は鈴蘭小学校と緑陽台小学校でも活動が始まり、新たな子どもたちとの出会いも楽しみの様子です。子どもたちと会話をしたり、宿題に取り組み児童を見守ったり、工作をしたり…。その合間に「元気で自分のできることをやりたい」と話してくれたことが印象的でした。



いしだ ひさよ  
石田尚世 通信員

## 放課後子ども教室の ボランティア参加